

令和7年12月10日(水)

校長室より(114)



こんにちは。

今日は、ノーベル賞<sup>しょう じゅしょうしき</sup>の授賞式がスウェーデンのストックホルムで行われます。「ノーベル賞」というのは「スウェーデン<sup>はつめいか</sup>の発明家アルフレッド・ノーベル<sup>ゆいごん もと</sup>の遺言<sup>ぶつりがく</sup>に基づき、物理学<sup>かがく</sup>、化学<sup>せいりがく</sup>、生理学・医学<sup>いがく</sup>、文学<sup>ぶんがく</sup>、平和<sup>へいわ</sup>の各分野<sup>かくぶん や</sup>で『人類に最大の貢献<sup>じんるい さいだい こうけん</sup>をもたらした人々』に贈られる賞です。後に、経済学<sup>けいざいがく</sup>分野<sup>ぶんや</sup>も追加<sup>ついか</sup>され、今では6つの賞があります。毎年<sup>まいとし</sup>、各賞最大3名<sup>しょうきん しょうじょう</sup>まで受賞できます。受賞者<sup>じゅよ</sup>には、賞金・賞状・メダルが授与されます。」と文部科学省<sup>もんぶかがくしょう</sup>のホームページに出ています。今年は、日本人<sup>にほんじん</sup>から2人の受賞者が出ました。化学賞を受賞した京都大学<sup>きょうとだいがく</sup>の北川進先生<sup>きたがわすすみせんせい</sup>と、生理学・医学賞を受賞した大阪大学<sup>おおさかだいがく</sup>の坂口志文先生<sup>さかぐちしもんせんせい</sup>です。北川先生は、微細な孔が無数に開いた「金属有機構造体(MOF)」の開発<sup>びさい こう むすう ひら</sup>、坂口先生<sup>きんぞくゆうきこうぞうたい</sup>は、免疫疾患<sup>めんえきしかん</sup>における「制御性T細胞<sup>せいぎょせいティーさいぼう</sup>」の発見<sup>はっけん</sup>をしたことで、この名誉ある賞を受賞しました。興味のある人は、調べてみてください。私も少し調べてみましたが、なかなか難しい内容でした。将来<sup>しょうらい</sup>、三咲っ子から受賞者が出たら「小学校時代の校長先生<sup>しょうがっこうじだい</sup>」として、インタビューに答えます。

また、今から57年前の1968年(昭和43年)には、東京都府中市<sup>とうきょうとふちゅうし</sup>で約3億円<sup>やく3おくえん</sup>を積んだ乗用車<sup>つ</sup>が白バイ警官<sup>じゅようしゃ けいかん</sup>を装った人物<sup>よそお</sup>に車ごと奪われる、通称「三億円事件<sup>さんおくえんじけん</sup>」が発生した日でもあります。この事件は、戦後最大の未解決事件<sup>せんごさいだい みかいけつじけん</sup>として今日でも多くの謎に包まれる事件となっています。



当時の新聞に載った写真

明日は、2年生の校外学習、明後日は、午前中が病院で検査、午後は出張なので、「校長室より」はお休みします。